

## 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

### 平成 30 年度 第 4 回理事会

#### 議 事 録

日 時：平成 30 年 11 月 17 日（土）9：00～11：30

場 所：日本財団ビル 2 階 大会議室

出席者：椎名茂、古市隆一、安藤佳代子、隅野礼雄、大日方邦子、渡辺孝次、桜本利幸、菅間賀巳、荒井秀樹、小林清美、山口聖子、夏目堅司、井上真司、内海けい（14 名）

委任出席：二星謙一、中村勝彦、東海林史朗、岩間秀子、徳田康、新田佳浩、狩野亮、（7 名）

出席監事：宮田隆司（1 名）

欠席監事：大内智（1 名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、21 名中 21 名出席（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には隅野理事、菅間理事が指名され了承された。書記には、事務局石丸が指名された。

会長より挨拶があり、次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

#### 椎名会長挨拶

強化・普及・連盟運営が 3 つの柱、強化は国際大会での成績向上のため、ピョンチャンパラリンピックでは 10 個のメダルを獲得したが、メダルに偏りがあり選手の発掘、育成が今後の課題。男子アルペンは森井選手の銀のみ、用具やサポート陣をどうするか。

普及は底辺の拡大これが進まないと言展がない、地方との連携が大切、スクールの情報整理、拠点作り。

運営基盤、財政はいつもスレスレ年の予算規模約 3 億円、資金を常に 2～3 カ月分持っていないと苦しい。2022 年までは、今の事務所が無料貸与されているが今後移転に伴い資金を確保必要。資金は助成金・スポンサーにより構成されている。ブラインドサッカーは自己資金で運営されている。この連盟も同じような方向を目指したい。

連盟の肥大化を抑えたい。収益を増やす、スポンサー収入も平昌が終わったが、微減で済んだ。

理事・監事の皆さんの力を集結して、また周囲の方を巻き込んで輪を広げていきたい。平昌で感じた感動を共有出来るようにしましょう。

#### 役員挨拶

出席した理事・監事より挨拶があり、プロフィールと意気込みが語られた。

小林理事、夏目理事から普及事業の大切さの訴えがあった。荒井理事からは企業がチーム自体をバックアップする体制がノルディックだけでなく、他のチームにも広げられるような活動にしてほしいとの要望があった。

## 【審議事項】

### 1) 委員会構成・理事役割分担について

椎名会長より説明があり

①新組織についての説明があり、アルペン・ノルディック・スノーボード委員会  
の上部に強化本部を新たに設置、常任理事会の承認権限を委譲、本部長決裁権限  
において進められることを増やすことにした。強化本部長に大日方理事、副本部  
長に荒井理事を候補として提案された。

②委員会の担当については、担当一覧表に沿って新担当理事・委員候補が説明が  
された。

③常任理事は各委員長から選んだ、椎名・大日方・二星・渡辺・安藤・隅野・菅  
間・古市各氏を、専務理事には古市理事が推薦された。

常任理事会の案内は理事にも案内するので準メンバーとして参加してほしい。ス  
カイプを利用して手軽に参加出来るようにしたい。電磁的に参加した場合の定款  
の修正を検討している。

委員会構成理事が担当一覧では不足している委員会があると、大日方理事から意  
見がありました。協議した結果、アルペン担当理事に井上理事と夏目理事が推薦  
された。スノーボード担当理事には、夏目理事と内海理事が推薦された。アルペ  
ン ID 担当理事並び普及委員会担当理事には山口理事が推薦された。

山本前理事の退任により、後任の事務局長に事務局の石丸さんが推薦された。

①新組織、②委員会、委員、③常任理事、専務理事、事務局長についての推薦候  
補者について議決を諮ったところ全員賛成で承認された。

### 2) スノーボード委員会からの提案について

古市さんからスノーボード委員会からの理事会議決申請について説明がありました。

#### ①意思決定の問題について：

意思決定が遅い、責任の所在と権限の委譲を検討してほしいとの申し入れに対して、  
最終の責任は理事会にあるが、強化本部制にすることで強化本部長に権限委譲して迅  
速に対応出来るようにする。強化本部の規程等は現在作成中です。

#### ②30年度の事業予算の修正について：

総会での承認を受けているので修正は行わない。他のチームも同様である。但し、追  
加申請時期に改めて検討する。財務委員長、事務局長が新たに就任したため今後は大  
きな集計ミスは無くなると思っている。

#### ③事務処理の問題点について：

新体制になってからの議事録は、3週間をめどに作成していく予定。これまでの議事  
録については、所在を含め調査中で、確認出来たものから順次整えていく予定。

起案書については、新に示してもらって検討することにします。

WEB上の登録は、チーム毎に行い個人情報の扱いについてもチームで管理している。  
理事会が個人情報の管理権限を持っているわけではないので、現状各チームに注意し  
て管理してもらっている。

小さな事務局での運営なので各チームとも現場の方に IPC とのやり取りもお願いしています。スノーボードチームも同様をお願いしたい。

昨年度のチームウェアについては、使用しないのであれば事務局あてに返却してください。

- ④夏季パラリンピックに出場を目指している強化指定選手の代表チーム在籍については、競技や選手個々で事情が異なるため連盟としての統一見解は出せない。個別に強化本部長と委員長が相談して決めるようにしてください。
- ⑤第5回障がい者スノーボード選手権大会を強化指定選手選考合宿参加の為のセレクション大会として承認します。ホームページでの告知は広報委員長と打ち合わせしてください。
- ⑥18/19 スノーボードフィンランド世界選手権選考方法については、スノーボードチームからの申請を承認します。
- ⑦ジャパンライジングスタープロジェクト計画については、出来るだけ参加するようにしてほしいと考えています。（JPC 主催の事業なので助成金確保の観点からも）
- ⑧スノーボード委員会スタッフからの質問と提案について、公益財団法人移行についての会員向けの説明の有無等について回答があった。
- ⑨誓約書について、新規定作成の話があったが作成していないので従来の規程で選手から署名をもらうようにしてください。
- ⑩公益財団法人化はまだ書類準備段階であり、移行のスケジュールは決まってません。
- ⑪医科学委員会の設置の提案については、クラシフィケーション委員会を新規に作って対応します。

以上、スノーボード委員会からの議決申請に対して古市理事からの説明がありました。

スノーボード委員会からの提案について各理事より意見がありました。

大日方理事より強化指定選手以外の IPC 登録はチームでは出来ない所以事務局にお願いしたい。

荒井理事より、クラシフィケーション（クラスファイヤー）委員会の設置が必要。山口理事が委員長になり情報整理します。

ジャパンライジングスタープロジェクトについては、夏目理事から3会場参加したが、準競技なので発掘は難しい。また、ゲレンデが遠いので参加させることはむずかしい。大日方さんから来年度の体制整備事業として予算化すべき。

スノーボード委員会からの提案についての回答についてと新たにクラシフィケーション委員会を作り、山口理事が委員長に推薦されたことについて議決を諮ったところ、全員賛成で承認されました。

### 3) 役員賠償保険の加入について

古市さんより、加入の可否について提案、荒井さんより具体的にどのような事例が対象となるのか確認あり。

椎名会長も具体的な事例を確認してから加入するようにしたい。保険金額は2億円で契約を考えています。

役員賠償保険の加入については、椎名会長の判断に一任することを全員が賛成し承認された。

#### 4) その他

山口理事から、INAS 世界選手権大会が中止、トレーニングキャンプに代替する。1月スウェーデン（ノルディック）・3月フランス（アルペン）・札幌（ノルディック）11/21に決まる予定との話がありました。事業変更手続きが必要になるのでJPCと相談してみるとのことでした。

今まで、INASはアルペンとノルディック同時開催であったが今シーズンはそれが出来ない可能性が高いとのこと。

INAS 世界選手権の中止に伴う予算の振替に関する議決は全員賛成で承認されました。

### 【報告事項】

#### 1) 公益財団法人への移行化準備状況について

椎名会長より、東京会計グループ担当者と打ち合わせを行った内容と今後の予定を説明。

菅間理事と石丸が担当。古市理事がフォロー

大日方理事から、NPOを解散することの会員向け説明を整理してお願いします。

#### 2) シーズンインキックオフ記者会見について

隅野理事から、12/25に日本財団ビルで記者会見と懇親会の予定。（3チーム揃う日がこの日しかないため）

#### 3) スポンサーカップについて

隅野理事から、今年の4月のスポンサーカップが好評であったので来年4月の実施予定で計画しています。場所は、グリーンピア津南スキー場で。予算手当は新年度のパラサポ助成金の予定。

#### 4) WPNS ワールドカップ札幌大会進捗

荒井理事から説明、2017年に開催、2年毎に開催なので2019年3月に行う。

問題は予算の手当、設営費・輸送費・ライフルの輸出入等の費用が大きくかかる。

札幌市2000万、基金3000万、参加費1000万 冠スポンサー（1500万）北海道新聞社を予定していたが地震のため実現せず。課題は冠スポンサー1500が不足、監事の人選が出来ていないこと。

新会長になっての初めての大きな大会、成功させましょう。

#### 5) ジャパンパラについて

椎名会長から日程と会場だけ決まっていると説明がありました。

2019年3月26日から3月30日、白馬八方尾根スキー場にて。

統括責任者：椎名会長、担当者：大日方、桜本、夏目、井上各理事

#### 6) 会議、イベントスケジュール

椎名会長より年間スケジュールを事前に案内します。常任理事会は平日の夜開催。  
変更依頼あれば石丸まで連絡をとること。

石丸より助成金の申請の流れを日程に沿って説明、2019年度からの基金助成の変更点を説明しました。

荒井理事より基金助成については、1団体1国際大会ではチーム活動が制限されてしまう。5チーム毎に割り振られるべき、交渉の余地ありとの意見がありました。

#### 7) 資料の電子化

椎名会長より説明、常任理事会と理事会の開催通知や委任状についての電子化により、紙を減らしてゆきたい。当日の配付資料は今まで通りにします。

総会の案内は電子メールも使うが、資料は今まで通り紙で送付せざるを得ない。

#### 8) スポーツ功労賞の推薦について

椎名会長より INAS 世界選手権優勝のアルペン ID 木村選手と同大会のノルディック ID 団体リレーを推薦する。(団体競技に該当するかは確認する) 後日 JPSA に確認したところ、リレー競技は団体競技には該当せずとのことでした。

#### 9) 理事候補者について

椎名さんから「保科 実さん」についての説明がありました。

理事選考委員会に諮って理事待遇とする。総会で理事として承認を受ける予定。

#### 10) 会員登録、競技者登録について

登録会員数、正会員 68 名、賛助会員 24 名、登録会員 103 名

競技者登録者数、85 名と石丸より報告。

小林さんから案内を受けていないとの指摘があったので

会員登録の案内方法について、メールで案内と ID は書面で話した

会員名簿の閲覧を希望、印刷物を小林さんに郵送する。

#### 11) 規程について

石丸より一覧を配布、その中から行動規範・コンプライアンス規程・事務分掌規程については、読み合わせを行った。

パーソナルスポンサー規程については、IPC の規程に沿って修正予定と伝えた。

#### 12) アンチドーピング委員会からの情報提供

石丸より、岩間理事からの情報提供について説明。

山口理事から、直接上東さんに相談していいのか、窓口をどうするのかについて今後、アンチドーピング委員会で決めてもらうとの話がありました。

#### 13) ソニー社からの商品提供について

石丸から、ソニー社から提供された商品（ヘルメットマウントワイヤレスヘッドセット）について説明がありました。各チームから事務局に使用したい旨の申請があれば貸出します。

以上、報告事項が全て報告され、議長より閉会の通告があり、理事会を終了した。

平成30年11月17日

議事録署名人

会 長            椎   名   茂

理事            隅   野   礼   雄

理事            菅   間   賀   巳